

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 8 月 10 日 (2006.8.10)

【公開番号】特開 2001-5054 (P2001-5054A)

【公開日】平成 13 年 1 月 12 日 (2001.1.12)

【出願番号】特願 平 11-178386

【国際特許分類】

G 0 3 B 15/00 (2006.01)

G 0 2 B 3/00 (2006.01)

G 0 3 B 17/02 (2006.01)

H 0 4 N 5/335 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 15/00 H

G 0 3 B 15/00 W

G 0 2 B 3/00 A

G 0 3 B 17/02

H 0 4 N 5/335 V

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 22 日 (2006.6.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 撮像素子と、

上記撮像素子の撮像面側に配設された複数の撮像レンズ部をもつレンズアレイと、
を具備し、

上記レンズアレイの各撮像レンズ部が各々異なる撮像範囲を持つように構成されたことを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】 上記レンズアレイに所定の画角をもって光線を入射させる視野レンズをさらに具備したことを特徴とする請求項 1 記載の撮像装置。

【請求項 3】 上記レンズアレイの各撮像レンズ部は仮想球面上に配設され、

上記撮像素子は、上記球面より半径の小さな同心の仮想球面上に、上記各撮像レンズ部に対応して配設されていることを特徴とする請求項 1 記載の撮像装置。

【請求項 4】 上記レンズアレイの各撮像レンズ部が撮像素子上に形成する像の範囲を制限する遮光手段をさらに具備することを特徴とする請求項 1、2 または 3 に記載の撮像装置。

【請求項 5】 上記撮像レンズに撮像された画像どうしをつなぎ合わせる手段をさらに具備することを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れかに記載の撮像装置。

【請求項 6】 上記レンズアレイの各撮像レンズ部の撮像範囲が、隣接する撮像レンズ部の撮像範囲と重複する部分を有することを特徴とする請求項 5 に記載の撮像装置。

【請求項 7】 上記画像どうしをつなぎ合わせる手段は、上記レンズアレイの各撮像レンズ部の撮像範囲の設計値からのずれを記録する手段と、上記記録された設計値からのずれを用いて、上記撮像された画像のつなぎ合わせ位置を補正する手段とを有することを特徴とする請求項 5 に記載の撮像装置。